

## ～ふたつの縁～

広島修道大学保健室 古武節子

### ひとつめ

今日は、とても不思議なそして運命的？な出会いがあったのでペンをとりました。

先日世界遺産の石見銀山に主人と行ってきました。

9月22日、石見銀山は行ったことがあるから町並みをゆっくり見に行きたいなと思いつつながら帰宅。すると主人が「明日、石見銀山に行くか？」と言うのです。私は「えっ？」と思いつつながら別の場所に行きたい気持ちもあったのですが、結局石見銀山に行くことにしました。

実は、主人は石見銀山には行ったことがなく、そして研究集会でいただいた「世界から感謝の手紙が届く会社」の本を私より先に読んで、行って見たいと言いつつ出したのです。

23日朝8時頃自宅を出発しました。

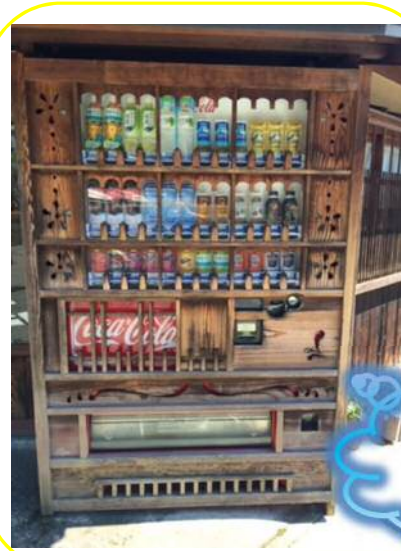
レンタサイクル（電動）で秋の風を感じながら龍源寺間歩へ行って銀山を見学後大森に戻りました。次に、何故か五百羅漢をぜひ見たいと言う主人に連れられ見学、いよいよ町並み散歩。

途中、中村屋という大きな看板が目に入り、その横の今にも字が消えそうな看板に「柔道教室」と書かれていて主人が「ここが社長さん宅じゃないか？」

そんなことを知らず歩いていた私はすぐさま引き返しゆっくり主人の話しを聞いていました。



ることなどお話をさせていただきました。それから30分くらい向かいの建物（社長さんが自宅の納屋を改装しスタートされた場所です）で中村ブレイスをモデルとした映画「アイ・ラ



木枠の自販機  
町並みにマッチ

そして、歩き出そうとしたその時、隣の家からまさに**中村ブレイス株式会社の中村俊郎社長**さんが出てこられびっくり！！

私はすかさず、中四国大学保健管理研究集会で講演を聞いた者である旨伝え、お話に感銘を覚えたこと、中村社長の生きざまや「人を大切にすること」姿勢に惹かれたこと、このご縁のめぐり合わせに大興奮である

ブ・ピース」のお話、人との縁などなどたくさんお話してくださいました。

たまたま、玄関から出てこられた偶然、後戻りせずそのまま行き過ぎていたらお会いできなかったであろう偶然、研究集会后お話したくて廊下に出てみたけどいらっしゃらなかったこと、もう、すごく幸せな時間を過ごすことができました。

そしてずうずうしくも写真まで一緒に写っていただきました。お別れしようとしていた所、今度は先ほどまでお留守だった奥様が偶然玄関から出ていらっしゃいました。そこで主人がなぜ五百羅漢と言ったのかわかりました。本の中で、社長さんとの出会いについて書かれていた中に五百羅漢がでてきたようです。

そこでまたすっかり、話しに花が咲きとても気さくでステキな奥様とお話することができました。

主人は、本を読んだ直後にまさしく主人公に出会えるなんて夢にも思っておらず、本を見せた私に感謝、私は銀山に行こうと言ってくれた主人に感謝。そして何より、研究集会で中村社長の教育講演を組んでくださった**島根大学さまに感謝**です。

ありがとうございました。

縁とは不思議なもの、そして思いは通ずるものだとつくづく感じました。

## ふたつめ

広島土砂災害のボランティアに参加

災害が起きて約一ヶ月がたとうとしていたある日、安佐南区のボランティアセンターで救護班の看護師が足りないということで、救護班の配属でのボランティア参加となりました。何をするのかご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、ボランティアに来ている人たちの救護です。怪我や熱中症などの対応です。本部と八木サテライト、緑井サテライト3箇所あり、私は緑井サテライトに派遣でした。

仕事は、手洗い・うがいをしてもらったり、応急処置、暑い中の労働で帰ってこられたら顔や手を拭いてもらうための冷たいお絞りの用意と



配布。おしぼりは、寄付

されたハンドタオルや手拭タオルを半分に切ってその日の人数分（この日は150個くらい）作りました。そして、民生委員さんの自転車をお借りして地図を片手に、ボランティア作業をしている現場へ行き声かけを行いました。怪我はないか、



水分補給を入れながら安全に作業するよう見守り隊のようでした。

いつも看護師が足りず、ボランティアに来ている人に「看護師さんはいませんか？」と声をかけ引抜しているとのことでした。

ボランティアに参加している職員に紹介されるまで、ボランティアの方たちの救護ボランティアがあるとはまったく知りませんでした。この救護班は一日だけ新聞で募集があったそうです。あとは、人から人へ伝わり山口県から泊まりでの参加、尾道からの参加のかたもいらっしゃいました。

長くなってごめんなさい。今までもいろいろな縁がありましたが、最近のご縁としては私にとって大きな出来事で一人で感じるのがもったいなくて報告させていただきました。これからも、**人との縁**を大切にしようと思います。

